

誰もが気軽に確認できる

防災情報を発信します!!



中心市街地で掲示がスタートしたQRコード。スマートフォンなどをかざしてアクセスすると、本市の防災ポータルサイトにつながります。災害発生時に慌てないためにも、ぜひ事前にチェックしてください。近年頻発する集中豪雨や台風への備えとして、より使いやすく、誰もが気軽に確認できるように、いろんな工夫をしています。

※GPS機能を活用する際は、スマートフォンの位置情報を「ON」にしてください。

1 QRコードを読み込もう

防災情報への
アクセスをスムーズに!



最新の避難情報や避難所の開設情報をはじめ、被害情報をいち早く発信します。

市ハザードマップもこちらから見るできるので、自宅はもちろん職場や学校の被害予測も事前に確認しておきましょう。QRコードから防災情報のサイトにアクセスできます。

確認したい情報を選んでください。

災害リスクを確認

ハザードマップを見る ▶



避難所の最新情報を確認

防災ポータルを見る ▶



避難所の場所を確認

避難所ナビを見る ▶



2 4月からスマホでハザードマップを見られるように!



現在地の災害リスクを
簡単に確認できます

洪水、土砂災害、津波、高潮の被害リスクなどを確認できます。さらにGPS機能が搭載されているので、現在地の災害リスクも一目瞭然です。



こちらもチェック!

お住まいの区ごとに情報をまとめた紙のハザードマップを各家庭に配布しました。「わが家の防災メモ」欄もありますので、避難場所や、避難場所で会えなかった時の集合場所など、事前に話し合っておきましょう。



withコロナ時代の
避難行動

平時に確認しておきたい4つのポイント

確認ポイント1

垂直避難が可能ですか?

避難とは、文字通り「難」を「避ける」ことです。安全な場所にいる人は、わざわざ避難する必要はありません。新型コロナウイルスの感染を避けるためにも、ハザードマップで自宅の安全が確認された方は「自宅にとどまる」という避難方法を選択してください。

次のチェック項目を満たす場合、自宅避難が可能です。

- ハザードマップで家がある場所に色が塗られていない
- さらに
- ▼洪水時
- 河川付近に住んでいない
- 浸水する深さよりも屋内の高いところに避難できる
- 水が引くまでがまんでできる水・食料等がある
- ▼土砂災害時
- 十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる



自宅避難をする場合、浸水の恐れがある方は2階以上へ垂直避難、土砂災害の恐れのある方は崖と反対側の2階以上に避難してください。ただし、ハザードマップに色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖の側に住んでいる方は必要に応じて避難を検討してください。

確認ポイント2

避難所以外に避難する場所はありませんか?

国のガイドラインに従い、避難所内の3密(密閉、密集、密接)対策や、消毒対策、避難者の定期的な健康管理を行っていますが、感染の可能性はゼロではありません。近隣の安全が確保できる親族宅、またはホテル等の宿泊施設を利用する避難も可能な限り優先して選択してください。

親族の家に避難



ホテルに避難

